

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年11月27日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	久美浜海岸海岸侵食対策事業	構想番号	(土・河整)構-19-1	
		地区名	京丹後市久美浜町湊宮、葛野、箱石地内	
概算事業費	4,200百万円	事業期間	平成5年度～平成35年度(予定)	
事業概要	過去に度々侵食被害が発生していることから、人工リーフの整備により、砂浜の回復・保全を図る。			
関連する公共事業	山陰海岸国立公園整備事業			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
地球環境・自然環境 主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	[地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など]	当該海岸は、人の手が入り込んでいないため、豊かな自然環境が保全されている。 箱石地区には、環境省のレッドデータブックで絶滅危惧種Ⅱ類に位置づけられているトウテイランの自生が確認されている。	人工リーフの施工により砂浜の回復・保全を図ることで、侵食被害から海浜植物の生息地を守る。	○
生活環境	[水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など]	事業実施に伴い、海中に石材を広く投入するため、投入時の振動や騒音の発生、海中の濁りを抑え、周辺の生物の生息環境保全に努める必要がある。	石材の海中投入に際し、投入位置を水面付近で行うなど、振動、騒音や濁りの軽減に努める。	△
地域個性・文化環境	[景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など]	当該海岸は、豊かな自然環境が残されており、3カ所の海水浴場があるため、多くの観光客が訪れる。また昔から地域住民に親しまれてきた海岸でもあり、周囲の景観に配慮した事業を行う必要がある。	人工リーフによる整備を行うことで、景観に配慮するとともに、砂浜の回復・保全を図り、豊かな自然環境を保全する。	○
地域の環境像	本海岸は山陰海岸国立公園に位置し、約4.9kmにも及ぶ府内で最大の砂浜海岸である。また、砂浜には海浜植物が群生するなど豊かな自然が残され、景観にも恵まれた美しい地域である。 このため、周辺の良好な自然・景観の保全や動植物の生息環境への配慮を行い、地域住民に親しまれる海岸を確保していく必要がある。			